

2020年12月2日

各位

会社名 ライフネット生命保険株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森 亮介  
(証券コード:7157 東証マザーズ)

## ライフネット生命保険 がん経験者へのアンケート調査 2020 を公開

### がん罹患者の、コロナ禍でのがん治療や生活・働き方の変化や悩み

ライフネット生命保険株式会社 (URL: <http://www.lifenet-seimei.co.jp/> 本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森亮介)は、この度、認定NPO法人キャンサーネットジャパンの協力を得て、がん経験者へのアンケート調査を実施しましたので、その調査結果をお知らせします。

本調査は、がんをご経験された方に、「生活面」「仕事面」「経済面」などの実態や悩みについて調査したもので、2017年に実施した[がん経験者へのアンケート調査](#)に次ぐ、2回目のアンケート調査となります。

今回は、直近のコロナ禍でのがん治療や生活・働き方の変化、また、3年前と比べ、がん治療と仕事の両立の実態の変化などを中心にとりまとめました。

本調査結果が、企業や個人ががん経験者への理解を深めるきっかけとなり、がん経験者の皆さまにとってより暮らしやすい、より働きやすい社会を創出するための一助になればうれしく思います。

#### ■■調査概要■■

- 調査タイトル:「ライフネット生命保険 がん経験者へのアンケート調査2020」
- 調査対象:直近3年以内のがん罹患経験者804名
- 調査方法:ウェブアンケート
- 調査地域:全国
- 調査実施時期:2020年10月
- 調査協力団体:認定NPO法人キャンサーネットジャパン

なお、より詳細なデータをご希望の場合は、お気軽にお問い合わせください。

本件に関するお問い合わせ先

ライフネット生命保険株式会社 広報  
TEL:03-5216-7900

～アンケート調査結果概要～

－ コロナ禍での変化 －

**■コロナ禍でのがん治療の変化（今回初調査）**

- ◆ 「コロナ禍で、がん治療に変化があった」と回答した人は 26%
- ◆ 「検査や投薬が延期になった」「入院中、家族と面会ができなくなった」「公共交通機関での通院ができなくなった」という声も

**■コロナ禍での日々の生活・働き方の変化（今回初調査）**

- ◆ 「コロナ感染による重症化リスクのため、外出には細心の注意を払う必要が生じている」
- ◆ 「医療職や人と接する仕事など、業務上の感染リスクから、治療と仕事の両立が困難で、休職や退職せざるを得ない」というケースも
- ◆ 「コロナ禍で、消毒やマスク着用が当たり前になり、居心地の悪さが無くなった」という声も

－ 仕事面 －

**■がん罹患後の仕事復帰（今回初調査）**

- ◆ 「がん罹患後に、仕事復帰した」と回答した人は 55%
- ◆ 「がん罹患後も、休職や退職をせずに働き続けている」と回答した人も 19%存在

**■がん罹患後の仕事への意識変化（継続調査）**

- ◆ 7割が「ライフワークバランスへの意識が高まった」
- ◆ 「周囲のスタッフへの気遣いの意識が高まった」と回答した人も 47%

**■企業のがん経験者への治療と仕事の両立支援「制度」と「風土」（継続調査）**

- ◆ 勤務先で「サポート制度自体がなかった」と回答した人が 40%（前回 43%）
- ◆ 「制度があっても、利用できない雰囲気があった」と回答した人が 27%（前回 30%）

**■がん経験者が求める「働きやすい環境づくり」への改善や工夫（継続調査）**

- ◆ 移動が辛い「ためテレワーク」を
- ◆ 放射線治療などで毎日通院するために「時間休暇」を
- ◆ 在宅勤務など、「周囲にがんになったことが知られないような環境づくり」を

－ 経済面 －

**■がん罹患前後の収入差（継続調査）**

- ◆ がん罹患後、「平均で 22%収入が減少」という結果に（前回 20%）

**■収入減少に至った理由（継続調査）**

- ◆ 収入減少の理由は、「休職」「業務量のセーブ」「退職」が TOP3（前回同様）

**■収入減少後の経済面での困りごと（継続調査）**

- ◆ 2人に1人が「本人や家族の生活費」「医療費」で苦勞した（前回同様）
- ◆ 「食事の用意ができないため、宅配やネットでの買い物が増えた」
- ◆ 「将来の教育費としていた貯蓄を切り崩した」という家庭も

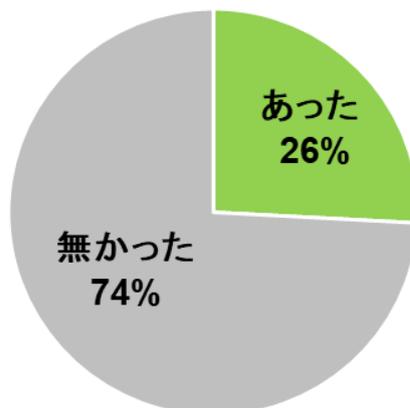
## ～アンケート調査結果詳細～

## － コロナ禍での変化 －

## ■コロナ禍でのがん治療の変化（今回初調査）

- ◆ 「コロナ禍で、がん治療に変化があった」と回答した人は26%
- ◆ 「検査や投薬が延期になった」「入院中、家族と面会ができなくなった」「公共交通機関での通院ができなくなった」という声も

Q コロナ禍で、緊急事態宣言をまたぐ期間(2020年1月頃～2020年9月末頃)、がん治療で変わったことはありましたか？  
 (単一回答)(n=770)



## ▼具体的なエピソード

年齢	自由回答
40代	入院期間がコロナ禍にあったので、面会ができなかった。また、抗がん剤治療中でもあったので、コロナの罹患がとても怖かった
40代	入院中、同室の仲間と会話ができなかったり、付き添いやお見舞いをお断りしなければならなかった
40代	いつまで元気でいられるかわからないのに、会いたい人に会いに行けない
40代	抗がん剤にアルコールが含まれるため公共交通機関で通院しなくてはいけなかったが、免疫力が低下している時期にコロナ感染するのが怖かったため、家族に送迎をお願いし、負担をかけた
40代	放射線治療を開始してすぐに夫が在宅勤務になり、子どもの保育園の送迎を担当してくれた。おかげで、放射線治療が楽に行えた
50代	術前検査の予約時に緊急事態宣言が出て、病院側から「今回の検査は次回持ち越しで」と言われた
50代	訪問先の病院でコロナ患者が出たと言われ、手術を断られた
50代	病院でコロナが発生し2週間閉院になり、受診や投薬が流れた
50代	病院のがん治療センターがコロナ禍で封鎖になり、抗がん剤投与の日にちが1ヶ月後に延びた
50代	緊急事態宣言下、電車での通院を避けて、慣れない車の運転で毎日放射線治療に通った
50代	接客業のため、体調は良くなって来たのに、感染の不安で退職することになった
50代	がん治療中で発熱があった際、コロナ罹患を疑われた発熱者と同じ扱いにされてしまった

### ■コロナ禍での日々の生活・働き方の変化（今回初調査）

- ◆ 「コロナ感染による重症化リスクのため、外出には細心の注意を払う必要が生じている」
- ◆ 「医療職や人と接する仕事など、業務上の感染リスクから、治療と仕事の両立が困難で、休職や退職せざるを得ない」
- ◆ 「コロナ禍で、消毒やマスク着用が当たり前になり、居心地の悪さが無くなった」という声も

Q.コロナ禍で日々の生活・働き方にどんな変化が起きていますか？

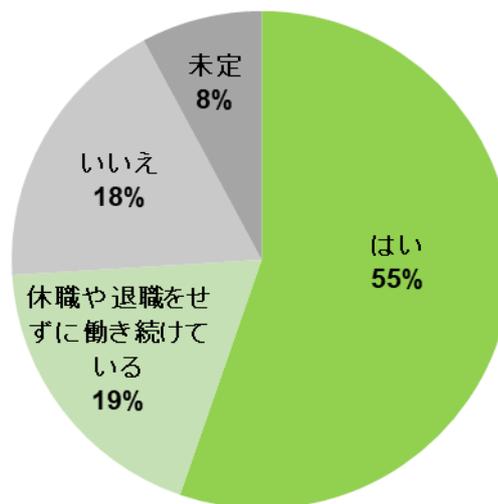
年齢	罹患時の職業	自由回答
30代	パート・アルバイト	今まさに再発・転移で放射線と抗がん剤治療中なので、免疫力も落ちているだろうし、なるべく人混みを避けて生活をしている
30代	パート・アルバイト	看護師をしており、コロナ疑いの患者さんも受診するため、罹患することへの不安はとて大きい。周りのスタッフにも気を遣ってもらい、申し訳ない
40代	パート・アルバイト	乳がんに罹患した。コロナ感染による重症化を避けるため、本人家族共に、買い物以外は自粛生活を2月から続けている
40代	正社員	どこにも出掛けていない。医療職だったため、治療とコロナ禍での就業の両立が困難と感じ、退職した
40代	パート・アルバイト	マスク、消毒は欠かさない。がん罹患者がコロナにかかるのが恐ろしいので、不安でいっぱい
40代	契約社員	抗がん剤の後などは特に感染が心配で、子どもの行事に参加したり、友人と会ったりすることもできない。人と接する仕事なので、抗がん剤治療中は休職している
40代	公務員・団体職員	コロナ禍のことが心配だったので、抗がん剤・放射線治療中は完全に仕事を休職した。復帰を決める時も、職場には必要以上に心配された
40代	パート・アルバイト	コロナ禍が広がり始めたのと同時期にがん告知され、休職に入った。半年後に復帰する際、会社の仕事量が減っており、短時間勤務にせざるを得なかった。体調面では問題がないので、もう少し働きたい
40代	正社員	3月からテレワークが本格的に始まり、体力的にはとても助かっている
50代	公務員・団体職員	健常者は「いつまでコロナ対策が必要なのか？」とマスクを外したり日常生活に戻そうとするが、がん罹患者はひたすら感染に怯えていることを全く理解されていない
50代	派遣社員	がんに罹患したこと、手術治療の話をしたら、自動的に解雇になってしまった
50代	パート・アルバイト	電車通勤をする職場を辞めて、在宅勤務ができる会社に転職した
50代	契約社員	職場復帰するタイミングがコロナ禍と重なり、感染が不安で結局退職することになった
50代	正社員	コロナ禍で、周りの人も手洗いをしたりマスクをつけてくれるので、逆に安心できた
50代	パート・アルバイト	これまでは真夏でもマスクをしていたり、日常的に手指の消毒をしているとかなり疎外感があったが、今ではその方がニューノーマルとなったおかげで居心地の悪さがなくなった。外でも皆がマスクや感染対策をしているので、これまでより多少安心感がある
60代	正社員	抗がん剤による白血球減での免疫低下のため、特にコロナ感染に注意している

## － 仕事面 －

### ■がん罹患後の仕事復帰（今回初調査）

- ◆ 「がん罹患後に、仕事復帰した」と回答した人は 55%
- ◆ 「がん罹患後も、休職や退職をせずに働き続けている」と回答した人も 19%存在

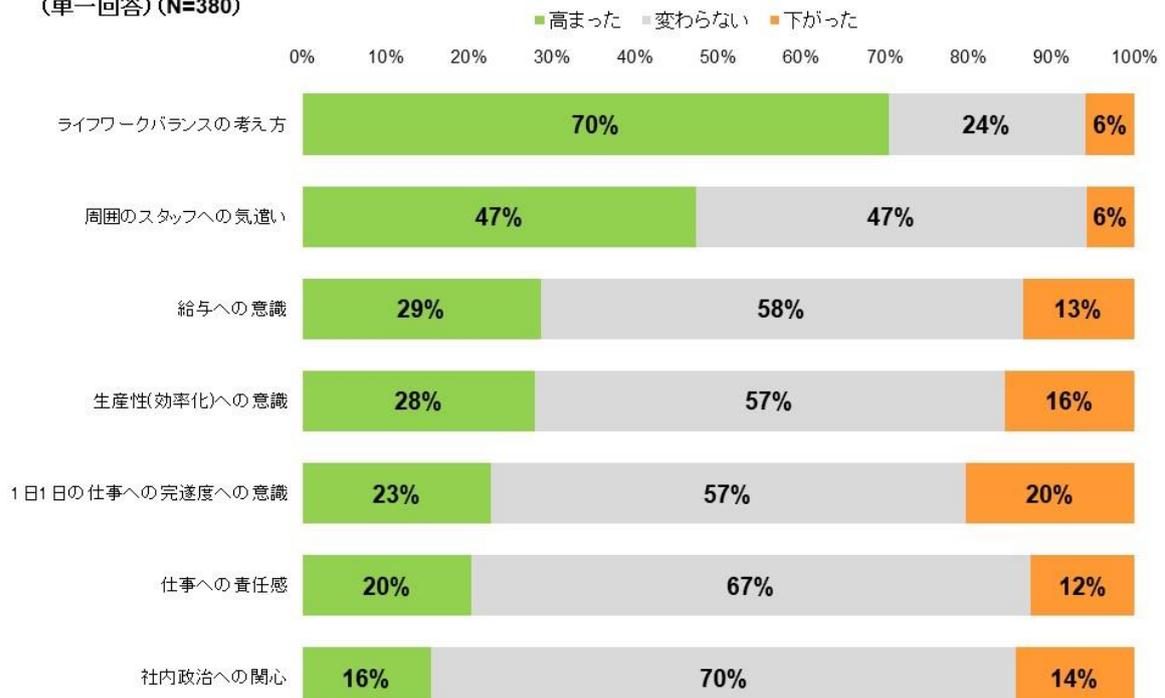
Q がん罹患後に仕事復帰(転職含む)はされましたか？  
 (単一回答)(N=716)



### ■がん罹患後の仕事への意識の変化（継続調査）

- ◆ 7割が「ライフワークバランスへの意識が高まった」
- ◆ 「周囲のスタッフへの気遣いの意識が高まった」と回答した人も 47%

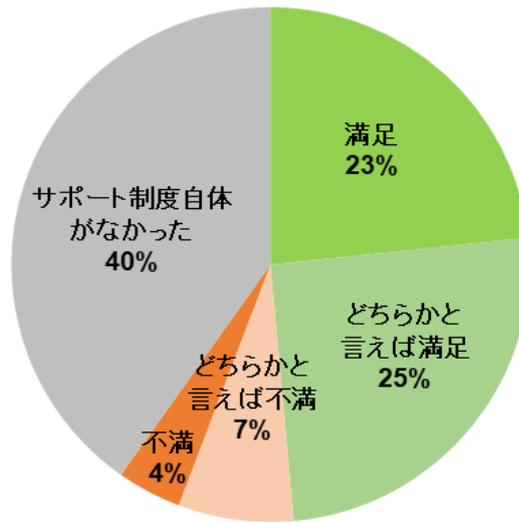
Q【罹患後仕事を再開された方】仕事復帰後、仕事への向き合い方はどう変わりましたか？  
 (単一回答)(N=380)



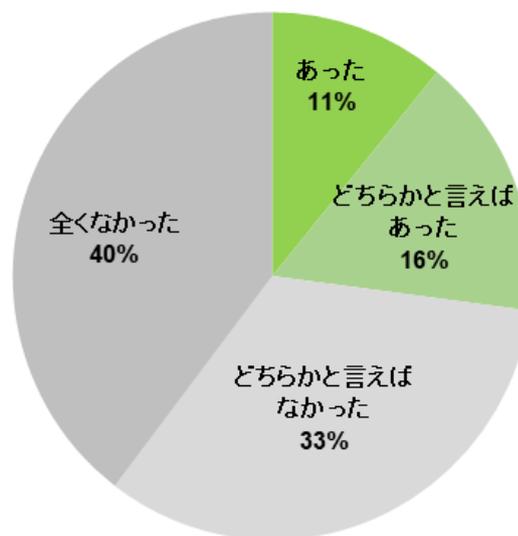
■企業のがん経験者への治療と仕事の両立支援「制度」と「風土」（継続調査）

- ◆ 勤務先で「サポート制度自体がなかった」と回答した人が 40%(前回 43%)
- ◆ 「制度があっても、利用できない雰囲気があった」と回答した人が 27%(前回 30%)

Q 罹患時の勤務先で利用したサポート制度には満足していますか？(単一回答) (N=694)



Q 罹患時の勤務先で、制度があっても使えない雰囲気はありましたか？(単一回答) (N=694)



### ■がん経験者が求める「働きやすい環境づくり」への改善や工夫（継続調査）

- ◆ 移動がつらいため「テレワーク」を
- ◆ 放射線治療などで毎日通院するために「時間休暇」を
- ◆ 在宅勤務など、「周囲にがんになったことが知られないような環境づくり」を

Q.がん経験者の皆さんがより働きやすい環境にするために、企業やスタッフはどういった改善や工夫が必要だと思われますか？

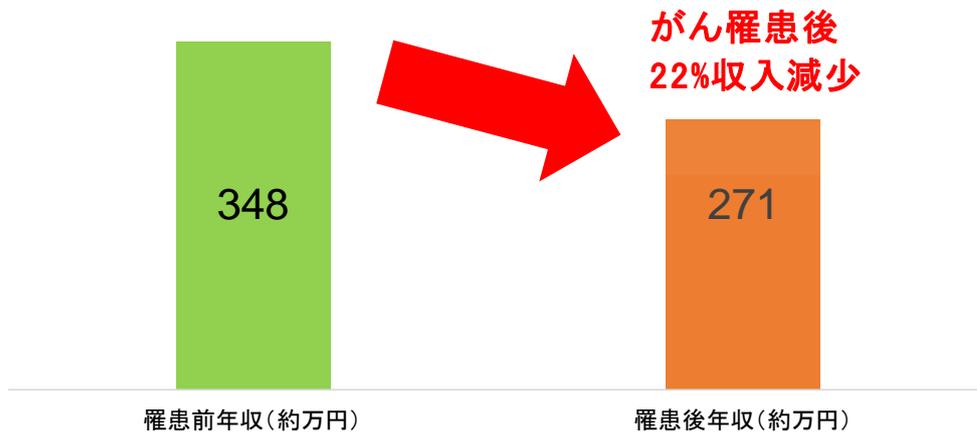
罹患時の年齢	罹患時の職業	自由回答
20代	正社員	がんに罹患して移動がづらい時に、テレワークを使用したい
30代	正社員	放射線治療などで毎日通院しないといけない場合のために、時間休暇を取り入れてもらえると安心
30代	正社員	がんで手術をすると10万円の支給があり、嬉しかった。一方、病気が周りのスタッフに知られない方法を検討するサポートが欲しかった
30代	公務員・団体職員	柔軟な勤務形態。髪が伸びるまで、できる限りテレワークができるとよい
30代	正社員	罹患後に復帰した際は今までの職場で同じ質、量の仕事をこなせないことも想定される。職場や人事部との面談を通して、適切な配置異動も必要
30代	正社員	ウィッグのズレを治せるよう、個室に鏡を置いてもらえるとよい
40代	正社員	抗がん剤治療中、通勤のためのタクシー利用補助があると助かる
40代	正社員	在宅勤務など、周囲にがんになったことが知られないような環境づくり
40代	正社員	復職時に時短勤務から開始できる制度を、がん罹患者にも適用してほしい。メンタル疾患のみに適用されている企業が多いように思う
50代	パート・アルバイト	リンパ浮腫防止のため、簡易ベッドを置いて、仕事の合間に横になれるとよい
50代	パート・アルバイト	周りに伝える人、周りに伝えたくない人、その人によって対応してくれる柔軟なサポート。（誰もが自分の病気を周りに伝えたい、知って欲しいわけではないと私は思っているので）
50代	正社員	産業医もおらず、サポート体制がなく自分自身で交渉しなくてはならず、体調や治療の不安もあるなか大変だった。小さな企業には、外部相談窓口設置を必須にして欲しい
50代	正社員	有給休暇以外に、病気・介護・子育て休暇で使用せずに残った過去の休暇をトータル60日分貯めることができる制度があり、それを活用できた。こういった制度が各社にあるとよい
50代	自営業・自由業	コロナ禍の理由以外でも、在宅勤務が可能となること

## － 経済面 －

### ■がん罹患前後の収入差（継続調査）

- ◆ がん罹患後、「平均で22%収入が減少」という結果に（前回 20%）

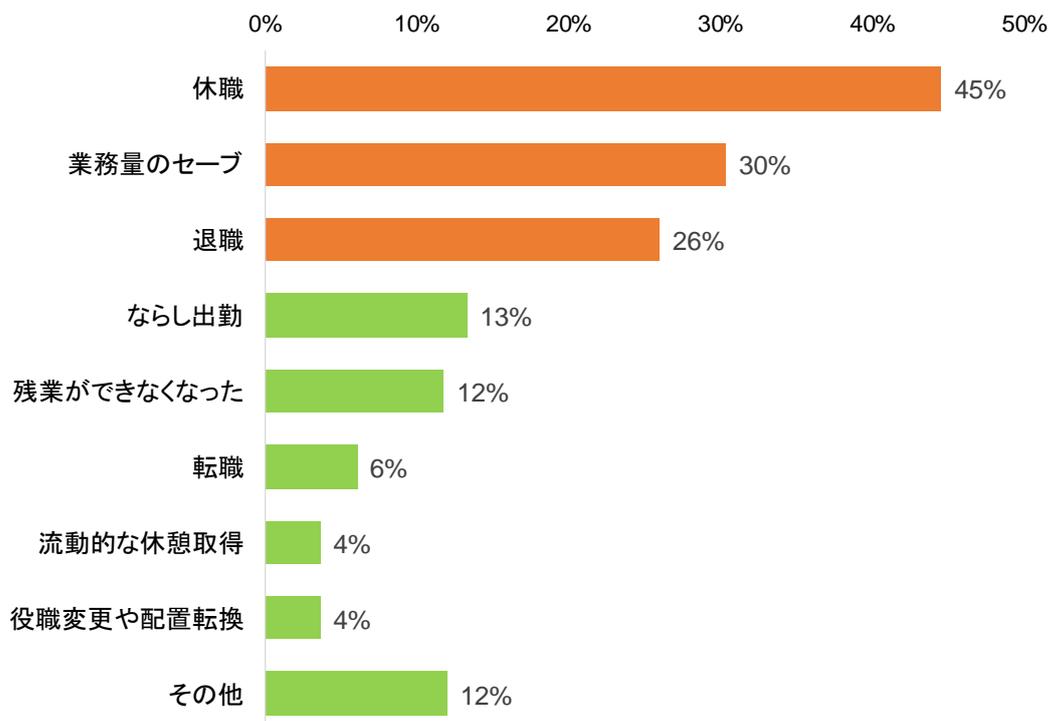
Q 罹患前と罹患後のおおよその収入をお答えください  
全体 (n=732)



### ■収入減少に至った理由（継続調査）

- ◆ 収入減少の理由は、「休職」「業務量のセーブ」「退職」が TOP3（前回同様）

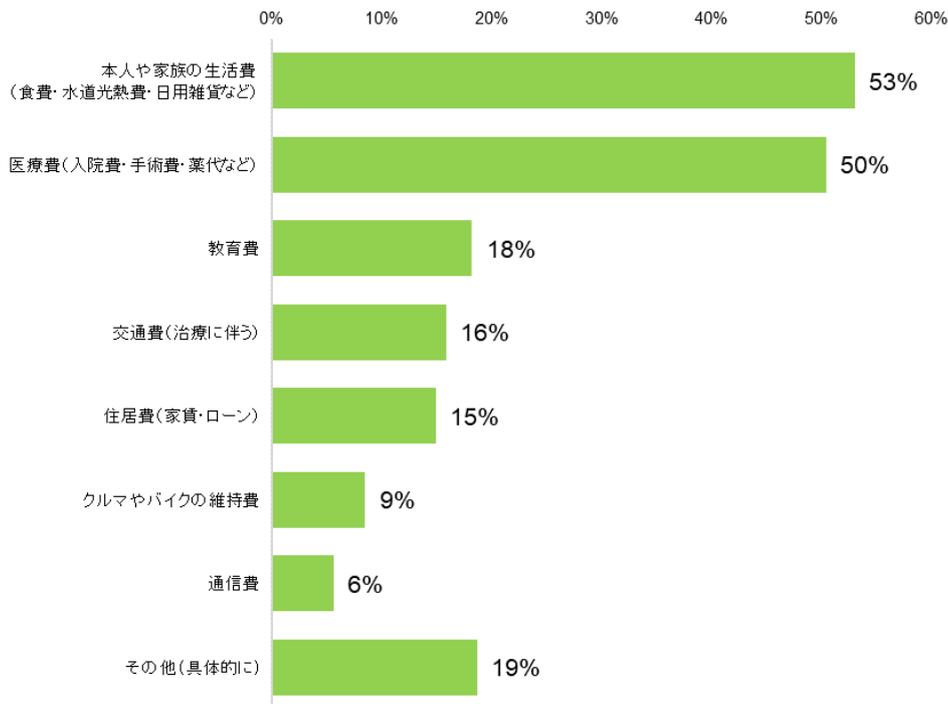
Q 収入が減った理由は何ですか？  
(複数回答可) (n=458)



## ■収入減少後の経済面での困りごと（継続調査）

- ◆ 2人に1人が「本人や家族の生活費」「医療費」で苦労した（前回同様）
- ◆ 「食事の用意ができないため、宅配やネットでの買い物が増えた」
- ◆ 「将来の教育費としていた貯蓄を切り崩した」という家庭も

Q 収入が減って、経済面で困られたことは何ですか？  
 （複数回答可）（n=422）



## ▼困られた具体的なエピソード

	罹患時の年齢	自由回答
生活費	40代	節約を余儀なくされているので、今までのように家族で外食をすることがなくなった
生活費	50代	食事の用意ができないため、宅配やネットでの買い物が増えた
医療費	40代	治療費にお金がかかる。毎月の支払いが給与では足りないので、貯金を取り崩して凌いでいる
医療費	50代	必要な治療や薬も買えず、購入したマンションを売って生活していたが、結局自己破産にまで至ってしまった
教育費	40代	受験を控えている娘がいるが、生活費で精一杯で、塾へ行かせてあげることができない
教育費	50代	将来の教育費としていた貯蓄を切り崩した
住居費	30代	働ける状態ではないのに、住宅ローンの支払いがあり、治療費もかかる
その他	40代	病院まで車で1時間かかるので、放射線治療時はガソリン代が結構かかった
その他	40代	ちょっとした贅沢を躊躇するようになった。自分へのご褒美、美容費など
その他	50代	乳房全摘により、以前に着ていた衣服が着られなくなり、下着なども新たに買い替えるなど費用がかさんだ

ライフネット生命について URL: <http://www.lifenet-seimei.co.jp/>

当社は、「正直に経営し、わかりやすく、安くて便利な商品・サービスを提供することで、お客さま一人ひとりの生き方を応援する」という経営理念のもと、インターネットを主な販売チャネルとする生命保険会社です。デジタルテクノロジーを活用しながら、保険相談、お申し込みから保険金等のお支払いまで、一貫してお客さまの視点に立った商品・サービスの提供を実現するとともに、オンライン生保市場の拡大を力強く牽引するリーディングカンパニーを目指します。

会社及び商品の詳細は <http://www.lifenet-seimei.co.jp/> をご覧ください。  
株主・投資家向けの情報は <http://ir.lifenet-seimei.co.jp/ja/> をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先  
03-5216-7900(広報:花谷/IR:関谷)